

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2172200210		
法人名	株式会社 共寿		
事業所名	グループホーム海津「福寿苑」		
所在地	岐阜県海津市海津町福江627番地		
自己評価作成日	平成29年12月3日	評価結果市町村受理日	平成30年2月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai.gokensaku.nhi.w.go.jp/21/i/ndex.php?acti.on.kouhyou.detai.1.2017.022.kani.tru&amp;sl.gvovsOd=2172200210-00&amp;PrEfOd=21&amp;Ver:si.onOd=022">http://www.kai.gokensaku.nhi.w.go.jp/21/i/ndex.php?acti.on.kouhyou.detai.1.2017.022.kani.tru&amp;sl.gvovsOd=2172200210-00&amp;PrEfOd=21&amp;Ver:si.onOd=022</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市伝馬町110番地		
訪問調査日	平成30年1月22日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様一人ひとりが納得しその方らしく暮らしていただける環境づくりに配慮し、人としての尊厳を遵守するケアを念頭に支援させていただいています。また、重症化の状況にも対応し、ご家族様、主治医との連携を密にしながら看取り業務に万全を期すよう体制づくりをしています。常日頃からご家族様のご相談やご要望にも耳を傾け、ご本人のみでなく、御家族様にも、ご満足いただけるケアを提供できるように努めている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域にねぎした事業所をめざし、小学校へキャラバンメイトとして劇を披露し、子供たちに認知症への理解を深めてもらっている。地域の人が、利用者が楽しみながら散歩が出来るように道路際に花を植えたり、できた野菜を届けたりするような事業所との関係がある。サービス利用開始時に終末期に対する家族や利用者の意見を聞き、重度化するたびに関係者全員で話し合いながら、家族が希望する方針を支援している。排泄は、車いすの人でも日中は2人介助でトイレでの排泄を支援している。市町村から緊急入所の依頼を受け、運営推進会議のメンバーからの地域密着型生活介護事業所の内容質問に答えるなど、地域の認知症介護の拠点として機能している事業所である。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月の職員会議の冒頭に、運営理念、職員の心得の唱和をしている。全職員で共有の確認と日々実践できるようにつとめている。	毎月の会議で理念について話している。地域密着型を意識して地域行事は利用者と一緒に参加している。職員は本人の生活歴を知り、その人の個性を大切に毎日の介護の中で理念を実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園、小学校の運動会、地域の廃品回収に協力したり、天気の良い日は周辺の散歩にでかける。地域の方も散歩しやすいように畦に彼岸花をたくさんさかせてくださる。	自治会に参加し、自治会長からは地域の消火訓練への声掛けがある。散歩道を楽しんでもらおうと、地域の人が花を植えたり、野菜のおすそ分けがある。事業所は小学校へ出かけ認知症の話をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に民生委員、自治会長さんにお話しすることがある。退所後の方にもアドバイスやサービスの利用について情報の提供を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	4施設合同の運営推進会議において、活動状況を報告しお互いを高められるよう努力している。ご家族や地域の方々の意見を伺いサービス向上に活かせるよう努めている。	メンバーから水害時避難への提案があり、近くの病院などへ協力依頼をしている。外部評価についての報告をし、メンバーや近隣の人に事業所の状況と認知症への理解を深めてもらおうと取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に高齢福祉課、消防署幹部、警察署の方々の出席のもと活動状況を把握していただいている。今年度は認知症のサポーター養成講座において高齢福祉課の方々と近くの小学校で、劇をおこなった。	事業所の空き情報などを伝え、市町村からは緊急入所依頼を受けている。他市町村に住む親族のサービス利用について、家族からの相談を受け、市町村と話し合いをして解決している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束に関する勉強会を職員会議を通じ理解徹底につとめている。ご利用者様に抑圧間を感じさせない暮らしができるケアを目指している。	身体拘束について事業所内の内部研修や有給扱いで外部研修に参加している。研修後は会議で職員全員が周知できるようにしている。また、4点柵や、車椅子をテーブルにつけるなど、具体的に課題を出し全員で話し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の場で高齢者虐待に関する勉強会を実施し、正しい知識を理解する。話し合い、検討するような管理体制、職場風土の構築に取り組んでいる。虐待が見過ごされることがないように話し合いをしている。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎月の勉強会の項目の1つとなっている。必要があれば日常支援事業や成年後見制度が活用できるよう支援していく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する説明は事前にご家族十分な説明を行っている。契約内容に変更がある場合はその都度説明し同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様には日頃から話しやすい雰囲気作りにも努めている。ご意見を頂いたりアンケート要望が出た時は職員間で共有し運営の向上にとりくんでいる。	ケアプラン送付時に近況を伝え、家族の意見や要望を聞いている。家族訪問時には、利用者の情報を伝え、話しやすい関係づくりを行っている。下肢のむくみへの対応や、食事形態について意見を聞いている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員から出た意見がトップに反映するよう意見の出しやすい職場作りに心がけている。管理者は年2回の個別面談をして意見や要望をきいている。	職員意見を個別面談時のみでなく、随時聞いている。ケア内容や人間関係、職員からの増員希望、食洗機の購入などを聞いている。職員の工夫で利用者の運動の機会を以前より増やしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者との密な連携や職員がやりがいを持って働ける職場を目指し、一人ひとりの生活環境を理解し勤務体制を整えキャリアアップができるよう指導している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の経験やキャリアに応じて研修の参加を促し、心のトレーニングをするよう努め、全職員がスキルアップできるよう指導している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	トップマネジメント会議での毎月の会議や勉強会を実施することで、情報交換できる場がある。2ヶ月1回のケアマネ会議の参加により同業者との交流もしている。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談、ご家族の入所申し込み時、生活状況、家族状況を把握するよう努めている。ご本人の気持ちを受け止め、寄り添いながら入所生活に生かせる信頼関係作りにつとめている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の苦労や今までのサービスの利用状況などこれまでの経緯についてゆっくり話を伺いながら早期に信頼関係をきづけるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談事やご本人や家族のおもい状況等、確認した上で可能な限り柔軟な対応を行い、必要としている支援に添えるよう相談を繰り返すことに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の想い、苦しみ、不安、喜びなど傾聴、共感しともに支えあえる関係をきづけるようつとめている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いに寄り添いながら、日々の暮らしの出来事や気づきの情報の共有に努めご本人を支えていく為の協力関係が築けるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの方や馴染みのところにご家族と出掛けられている。人とのつながりが続けられるよう支援させていただいている。どなたでもご利用様のお知り合いが面会できるようにしている。	馴染みの美容院に、下肢筋力の低下もありいけなくなった人へ、事業所から美容院に来ていただくように依頼し、継続利用が出来る。近所の人や昔の勤務先社長の訪問などには再訪をお願いしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しくお食事したり、体操、散歩等を利用し関係が円滑になるよう働きかけている。職員は状況により声掛けや情報提供できるようにしている。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	在宅に戻られたり他の施設に移られた場合でも、相談に乗ったり状況把握に努めている。医療機関に入院された利用者様には、病院に伺い様子の確認、病院との連携をしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所の際のアセスメントにより生活暦、生活、性格をご家族にお尋ねする。日々の関わりの中で雰囲気やしぐさ、言動などから思いや意向の把握ができるよう信頼関係につとめている。	入浴時や2人きりの時に、ゆっくりと時間をかけて聞いている。困難な場合は、動作や家族からの情報を得て、好みや思いを把握するようにしている。情報は会議やスタッフ間の話の中で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の面談やアセスメントで本人様の生活暦をしるよう努めている。プライバシーに配慮しつつご本人やご家族様等のかかわりの中で、生活歴や馴染みの暮らし方等取り入れていける様努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活のかかわりの中で利用者一人ひとりの生活のリズム心身状況を記録し職員が情報を共有し申し送り等を取り入れ現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の要望やかかりつけ医の意見を聞き担当者会議で検討し適切な介護計画となるよう作成している。状況の変化時は速やかに見直しをしている。	担当職員や家族など会議で話し合い計画を作成し、本人にも説明をしている。毎月モニタリングを行い、食事や入浴の方法など状態変化があれば、その都度変更している。変更時は家族の了解を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルに食事量、水分量、排泄状況等身体的状況、日々の暮らしの様子を記録し申し送りし、職員間で状況を常に共有し実践や介護計画の見直しにいかしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況に応じて通院、送迎、ご家族様の昼食、夕食を提供する等満足していただけるよう努力している。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に行政、消防署、民生委員、駐在所、自治会長等の参加を呼びかけ、周辺状況や支援に関する情報の交換協力関係をきづける様に努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時入所後もご本人ご家族の希望を確認しながら、協力医療機関やかかりつけ医での継続的な医療が受けられるよう支援している。状況に応じて家族に代わり受診の付き添いも行っている。	本人や家族の希望のかかりつけ医を、事業所の看護師が同行し受診している。経過や状況を家族に報告している。内科・精神科・歯科は月2回の訪問診療があり、適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のかかわりの中で体調変化や健康管理に注意を払い、早期の段階で家族に報告し協力医療機関に受診できるようにしている。看護職員不在時には併設の看護職員と連携し対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には利用者様が安心して治療が受けられるように医師と連絡連携をはかり情報提供できるようなところがけている。入院中もできるだけ見舞い早期に退院支援に結び付けられるよう情報提供している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について状況が変化した時など家族と話し合いを重ね確認しあい協力医、協力病院と連携をとりながら対応している。他施設との協力体制もととのえている。	入居時に事業所の方針を説明している。状態の変化に応じ、その都度家族・医師・事業所が話し合い、職員には、状況や連絡方法などを伝え方針を共有している。宿泊への配慮や、看取り後は悲しみを乗り越えられるように事業所から手紙を送っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に迅速に対応できるようにマニュアルや連携網を作成している。救命訓練を実施している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の場を利用し、周辺の福祉施設、市町村、警察署との協力体制地域住民の方の災害対策の構築に結び付けられるようつとめている。	火災・地震・水害・夜間などを想定し、利用者や運営推進会議出席者が参加して、隣接する事業所と合同で訓練している。近く病院とは災害時の受け入れの約束を交わし、協力関係を築いている。	

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年長者として人格を尊重し誇りやプライバシーの確保は常時保てるように対応している。	必ず声掛けをして行動すること、自分の都合で対応しないことを心掛けている。トイレは扉とカーテンで2重にし、車いすへの工夫がある。室内のパットやオムツなどは布をかぶせ直接目に触れないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご本人が話されたり動作や表情から真意を汲み取りケアの情報共有にいかしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の1日の過ごし方を把握した上で体調、天候なども考慮し過ごしていただいている。入浴もご本人の希望に添えるよう配慮している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪、洗髪の支援はご本人ご家族の意向に応じて支援させていただいている。入浴時着替えの準備をご自分で選択できるようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みに合わせて、季節のもの地域の行事食を嚥下状態に応じて個別の食事形態にて提供する。	職員が利用者の好みや体調を考慮して調理している。利用者はテーブル拭きなど出来ることを手伝っている。おせち料理など行事食をとり入れている。誕生日はちらし寿司とケーキと決めている利用者もいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量水分量は介護記録に記入し多い少ないが1目でわかるようにしている。ペースにあわせて提供するタイミングやメニューを変えられるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯磨きや義歯の手入れができる方はご自分でおこなって頂く。ご利用者さんにあった口腔ケアを行っている		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別に排泄パターンを把握しご本人の表情やサインを見逃さず迅速に対応できるようにし昼間はトイレでの排泄支援につとめている。	排泄パターンを把握し、起きれる人は夜間もトイレへ誘導している。退院直後オムツ使用の人は見守りながら徐々にはずし、少しでも座れる人は、2人介助でトイレでの排泄が出来るよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を把握し水分多めに摂取していたり体操や散歩の声掛けをして腹部のマッサージも行う。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴は利用者の希望にあわせ家庭用サイズの個浴にゆったりのんびり楽しみとなるよう工夫している。一般浴困難な方は機械浴をおこなっている。	ゆったりのんびりと入浴することで楽しみとなるようにしている。職員は、湯温や順番、入浴剤など好みを聞き、介助しながら会話をして楽しみを増す工夫をしている。利用者の状態により2人介助で入浴をしている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの体調や体力を把握し日光浴や適度な昼寝を行うなどして休息安眠できるよう環境をととのえている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の指導の下、利用者様の薬の把握につとめている。利用者の状態に応じ確実に服薬できるよう飲みやすさ飲むタイミングの工夫をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一日のかかわりの中でできることを見つけ出し楽しみに繋がるように支援し気分転換を兼ねて掃除等のお手伝いも行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様の体調や天候に応じておこなっている。近所の喫茶店、公園、テラスでのティータイム等行っている。	天気のいい日は近所を散歩している。家族の協力が得られる人は希望の場所へ外出している。喫茶店や名所などの外出は、利用者の重度化や終末期を迎える人があり、人員体制の問題からこしばらくは外出が出来ていない。	利用者の重度化や人員体制もあるが、地域や店舗の協力や、ボランティアの参加などにより、利用者全員が希望の外出が出来るようになることを期待したい。

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人がお金に関する不安や不満が生じないように御家族と話し合い満足いただけるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により電話しやすいように声掛けし直接お話できるように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関にイベントの飾り付けをして季節感を取り入れ生活観が伝わる空間作りをこころがけている。	室温・湿度・採光・換気に気を付けている。居間は、皆で作った季節ごとの貼り絵が飾ってある。テレビの前に炬燵があり、周りに本や新聞・いろいろな雑貨等が置いてある。壁際には寝ころべるソファがあたりして生活感に満ちている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングのソファや食卓の席は仲の良い方が、近くで過ごせる様工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使用されていた品使い慣れたものを居室に置いていただいて精神的負担がかからないように工夫している。居心地良く安心して過ごしていただけるようにしている。	居室入口に暖簾や造花等が飾ってある。位牌やぬいぐるみ・自作の折り紙、孫の手作りの額や誕生日の色紙などがある。職員は、入居時に使い慣れたものを持ち込んでいただくように家族に依頼している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行や車椅子での動線確保に気を配りご本人の不安を取り除き安全な環境での自立支援につなげられるように工夫している。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2172200210		
法人名	株式会社 共寿		
事業所名	グループホーム海津「福寿苑」		
所在地	岐阜県海津市海津町福江627番地		
自己評価作成日	平成29年12月3日	評価結果市町村受理日	平成30年2月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai.gokensaku.mhl.w.go.jp/21/i/index.php?act=on_kouhyou_detai1_2017_022_kani_tru&amp;aj_gvosyoCd=2172200210-00&amp;PrEfCd=21&amp;Ver:si onOd=022">http://www.kai.gokensaku.mhl.w.go.jp/21/i/index.php?act=on_kouhyou_detai1_2017_022_kani_tru&amp;aj_gvosyoCd=2172200210-00&amp;PrEfCd=21&amp;Ver:si onOd=022</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市伝馬町110番地		
訪問調査日	平成30年1月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者が一人ひとり納得しその方らしく暮らしていただける環境づくりに配慮し、人としての尊厳を遵守するケアを念頭に支援させていただいています。また重症化の状況にも対応し、御家族様、主治医との連携を密にしながら看取り業務に万全を期すよう体制作りをしています。常日頃からご家族様の相談やご要望にも耳を傾、ご本人のみでなく、ご家族様にも、ご満足いただけるケアを提供できるようにつとめている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月の職員会議の冒頭に、運営理念、職員の心得の唱和をしている。全職員で共有の確認と日々実践できるように努めている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園、小学校の運動会、地域の廃品回収に協力したり、天気の良い日は周辺の散歩にでかける。地域の方も散歩しやすいように畦に彼岸花をたくさん咲かせてくださる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に民生委員、自治会長さんにお話することがある。退所後の方にもアドバイスやサービスの利用について情報の提供をおこなっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	4施設合同の推進会議において活動状況を報告しお互いを高められるよう努力している。ご家族や地域の方々の意見を伺いサービス向上に活かせるよう努めている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に高齢福祉課、消防署幹部、警察署の方々の出席のもと活動状況を把握していただいている。今年度は認知症のサポーター養成講座において高齢福祉課の方々と近くの小学校で劇を行った。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束に関する勉強会を職員会議を通じ理解徹底につとめている。利用者様に抑圧感を感じさせない暮らしができるケアを目指している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の場で高齢者虐待に関する勉強会を実施し正しい知識を理解する。話し合い検討するような管理体制、職場風土の構築に取り組んでいる。虐待が見過ごされることがないように話し合いをしている。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎月の勉強会の項目の1つになっている。必要があれば日常支援事業や成年後見制度が活用できるよう支援していく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関する説明は事前にご家族に十分な説明を行っている。契約内容に変更がある場合はその都度説明し同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様には日頃から話しやすい雰囲気作りに努めている。ご意見を頂いたりアンケート要望が出た時は職員間で共有し運営の向上に努めている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からでた意見がトップに反映するよう意見の出しやすい職場作りに心がけている。管理者は年2回の個別面談をして意見や要望を聞いている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者との密な連携や職員がやりがいを持って働ける職場を目指し、一人ひとりの生活環境を理解し勤務体制を整えキャリアアップができるよう指導している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々の経験やキャリアに応じて研修の参加を促し心のトレーニングをするよう努め、全職員がスキルアップできるよう指導している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	トップマネジメント会議での毎月の会議や勉強会を実施することで、情報交換できる場がある。2ヶ月に1回のケアマネ会議の参加により同業者との交流もしている。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談、ご家族の入所申し込み時、生活状況、家族状況を把握するよう勤めている。ご本人の気持ちを受け止め、寄り添いながら入所生活に生かせる信頼関係作りにつとめている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の苦労や今までのサービスの利用状況などこれまでの経緯についてゆっくり話を伺いながら早期に信頼関係をきづけるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談事やご本人や家族の想い状況等、確認した上で可能な限り柔軟な対応を行い、必要としている支援に添えるよう相談を繰り返すことに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の想い、苦しみ、不安、喜びなど傾聴、共感しともに支えあえる関係きづけるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いに寄り添いながら、日々の暮らしの出来事や気づきの情報の共有に努めご本人を支えていく為の協力関係がきづけるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの方や馴染みのところに御家族とでかけられている。人とのつながりが続けられるよう支援させていただいている。どなたでもご利用様のお知り合いが面会できるようにしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しくお食事したり、体操、散歩等を利用し関係が円滑になるよう働きかけている。職員は状況により声掛けや情報提供できるようにしている。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	在宅に戻られたり他の施設に移られた場合でも、相談に乗ったり状況把握に努めている。医療機関に入院された利用者様には、病院に伺い様子の確認、病院との連携をしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所の際のアセスメントにより生活歴、生活、性格をご家族にお尋ねする。日々のかかわりの中で雰囲気やしぐさ、言動などから思いや意向の把握ができるよう信頼関係に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の面談やアセスメントで本人様の生活歴を知るよう努めている。プライバシーに配慮しつつご本人や御家族様等のかかわりの中で、生活歴や馴染みの暮らし方等取り入れていける様努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活のかかわりの中で利用者一人ひとりの生活のリズム心身状況を記録し職員が情報を共有し申し送り等を取り入れ現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族の要望やかかりつけ医の意見を聞き担当者会議で検討し適切な介護計画となるよう作成している。状況の変化時は速やかに見直しをしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のファイルに食事量、水分量、排泄状況等身体的状況、日々の暮らしの様子を記録し申し送りし、職員間で状況を常に共有し実践や介護計画の見直しにいかしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況に応じて通院、送迎、ご家族様の昼食、夕食を提供する等満足していただけるよう努力している。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に行政、消防署、民生委員、駐在所、自治会長等の参加を呼びかけ、周辺状況や支援に関する情報の交換協力関係をきづける様努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時入所後もご本人ご家族の希望を確認しながら、協力医療機関やかかりつけ医での継続的な医療が受けられるよう支援している。状況に応じて家族に代わり受診の付き添いも行っている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のかかわりの中で体調変化や健康管理に注意を払い、早期の段階で家族に報告し協力医療機関に受診できるようにしている。看護職員不在時は併設の看護職員と連携し対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には利用者様が安心して治療が受けられるように医師と連絡連携をはかり情報提供できるようなところをけている。入院中もできるだけ見舞い早期に退院支援に結びつけられるよう情報提供している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について状況が変化した時など家族と話し合いを重ね確認しあい協力医、協力病院と連携をとりながら対応している。他施設との協力体制もとのえている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時に迅速に対応できるようにマニュアルや連携網を作成している。救命訓練を実施している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の場を利用し、周辺福祉施設、市町村、警察署との協力体制地域住民の方の災害対策の構築に結び付けられるよう努めている。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの誇りや人格を尊重して言葉掛け等については会議で話し合い、ご本人の気持ちを大切にさりげないケアに心がけている。他の利用者様にも理解が得られるようにつとめている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の方にあわせ声掛けし、日常の中で表情や反応を注意深くキャッチしながら、ご本人の思いや希望を伝えやすい場面作りを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、それに合わせた対応を心がけている。その日のコンディション、様子を見ながら希望を尋ねたり相談しながらすごしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えは基本的にご本人の意向できめているがご自分で決められない方は職員がおこなっている。希望により美容院や訪問理容ができるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の希望のメニューを工夫したり、季節の行事の料理を取り入れたり、昔ながらの料理など楽しみながら食べて頂ける様工夫している。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調と一日の水分量はを毎日把握している。食事量、水分量も個別で確認するようにしている。トロミ使用の方、水分量の少ない方も支援方法を考えている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状況に沿った個別支援にて口腔ケアを行っている。職員が一人ひとりその方の支援方法に沿ってケアしている。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用して尿意のない方でも声掛けによりトイレ誘導し座ることでの排泄習慣を大事にしている。オムツやパット類もどの時間帯どのようなものを使用するか明確にしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを記録し、朝食前に牛乳やジュース等をお出して十分な水分摂取の提供に取り組んでいる。体を動かし散歩、体操の声掛けをしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	希望にあわせタイミングにあわせて入浴して頂けるよう入浴剤なども入れるよう工夫している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動を促し、生活のリズムを整えるよう努める。また体調や体力に合わせて休息していただくよう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方、効能副作用の説明ファイルを保管し職員が内容を把握できるようにしている。服薬後きちんと服用できたか確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を発揮してもらえるようお願い出来る仕事を頼み、感謝の言葉をつたえる。新聞折り、洗濯ものたたみ、ゴミ袋折、手する拭き。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気分転換の外気浴、テラスでのティータイム、近くの食堂の出前ランチ、喫茶店にでかける。年間計画で外出支援をしている。		

グループホーム海津「福寿苑」

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金に関する不安や不満が生じないようご家族と話し合い満足していただけるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様がご家族と連絡取りたいと申し出があった時はすぐに取りれるように努めている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や行事で行った写真などを活用しながら暮らしの場をととのえている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事時やリビングでくつろがれる時は中の良い方やご夫婦等くつろげるよう工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や馴染みの品、お位牌など思い出のものを置いていただき、居心地よく安心して過ごしていただけるよう工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	混乱や失敗が生じたときはその都度職員で話し合い本人の不安を取り除き自立支援につなげられるよう工夫している。		